

## 目 次

『国際犯罪の指導者処罰——国際刑事裁判所の理論と実践を中心に』

はしがき

凡例（略語）

序章 問題の所在——国際犯罪の指導者処罰の可能性と限界 —— 1

第1部 「国家の国際犯罪」の処罰から「個人の国際犯罪」の処罰へ

第1章 「国家の国際犯罪」としての侵略概念とその法典化  
の断念 ————— 11

- 1 「国家の国際犯罪」としての侵略概念 11
  - (1) 戦争違法化以前における「国家の国際犯罪」の主張 11
  - (2) 戦争違法化を契機とする「国家の国際犯罪」概念の萌芽 13
  - (3) 侵略に対する制裁と「国家の国際犯罪」に対する刑罰の混同 21
- 2 「国家の国際犯罪」としての侵略法典化から「人類の平和と安全に  
対する犯罪」へ 24
  - (1) 集団安全保障体制を利用する国際法委員会諸提案 24
  - (2) 「国家の国際犯罪」に対する処罰と集団安全保障体制上の制裁の関係 31
  - (3) 「国家の国際犯罪」特有の国際責任制度創設の妥当性 38

第2章 「個人の国際犯罪」処罰の実現と国際刑事裁判所の成立  
————— 52

- 1 第一次世界大戦後の処理における個人処罰の提案 52
- 2 国家による侵略行為の処罰——個人の「侵略犯罪」に基づく処罰の  
提案 53
- 3 「国際犯罪」としての侵略に基づく国家と個人の処罰 57

4 「個人の国際犯罪」としての「平和に対する罪」処罰の実現	60
5 「個人の国際犯罪」処罰の実現から国際刑事裁判所の設立へ	63
6 国際刑事裁判所における「個人の国際犯罪」処罰の意義	65

## 第2部 国際法上の国際犯罪の指導者処罰理論

### 第1章 「共同犯罪実体」概念による指導者処罰の模索 —— 77

1 旧ユーゴスラビア国際刑事裁判所 (ICTY) 判例上の「共同犯罪実体」概念による指導者処罰	77
(1) 旧ユーゴスラビア国際刑事裁判所 (ICTY) の設立	77
(2) ICTY における「共同犯罪実体」概念に基づく処罰の必要性	79
(3) ICTY 判例上の「共同犯罪実体」概念の3類型	82
2 「拡大型共同犯罪実体」概念による指導者処罰の意義と問題点	84
(1) 「拡大型共同犯罪実体」概念を否定しようとした ICTY 判例	84
(2) ICTY 判例における「拡大型共同犯罪実体」概念の確立	87
(3) カラジッチ事件およびムラジッチ事件 ICTY 第一審判決における「共同犯罪実体」	89
(4) 「共同犯罪実体」概念に基づく「指導者」処罰の問題点	93
(5) 「共同犯罪実体」概念に基づく「指導者」処罰の限定	96
(6) 小 括	99

### 第2章 国際刑事裁判所 (ICC) における指導者処罰の可能性と課題 ————— 107

1 上官責任による指導者処罰の可能性と課題	107
(1) 国際刑事裁判所の設立	107
(2) 上官責任規定の創設	108
(3) ベンバ事件 ICC 第一審判決の概要	112
(4) ベンバ事件 ICC 第一審判決からみた上官責任の要件	114
(5) ベンバ事件 ICC 控訴審判決の概要	116
(6) 上官責任を科すことの困難性	119
2 指導者処罰のための「コントロール」理論の形成	121
(1) 「コントロール」理論の必要性	121

(2) ルバンガ事件予審裁判部で示された「コントロール」理論とその類型	123
(3) ルバンガ事件確定判決前までの「コントロール」理論に基づく実行行為	126
(4) 「コントロール」理論に基づかない指導者処罰の主張	128
(5) 「コントロール」理論における「不可欠の寄与」の要件	130
3 「コントロール」理論による指導者処罰の明確化	133
(1) ルバンガ事件確定判決における「コントロール」理論に基づく 実行行為の要件	133
(2) 「コントロール」理論に基づく指導者処罰の課題	136
(3) 小括	140

### 第3章 国家の「侵略行為」を前提とする「侵略犯罪」の処罰

	152
1 国家の「侵略行為」が「侵略犯罪」の前提とされたことの意義	152
(1) 国家の「侵略行為」を前提とする「侵略犯罪」の形成	152
(2) 「侵略犯罪」の定義に国家の「侵略行為」の定義をおくことの意義	159
(3) 「侵略犯罪」の定義における国家の「侵略行為」	167
2 「侵略犯罪」の主体たる指導者の「コントロール」基準による画定	173
(1) 「平和に対する罪」の主体の要件から「侵略犯罪」の主体の要件へ	173
(2) 国家に「侵略行為」を行わせうる「地位」にある者による「侵略犯罪」の 実行	177
(3) 「侵略犯罪」の実行行為を「コントロール」基準により画定することの意義	179
(4) 「侵略犯罪」の実行行為を「コントロール」基準により画定する場合の課題	182
(5) 「平和に対する罪」の判例の再検討	185
(6) 小括	187

### 終章 国際犯罪の指導者処罰の「鍵」

主要参考文献

初出一覧

事項索引

判例索引